

通常は7月に入ってから出現する。これまでの最も早い記録は6月24日であったが、今年は6月16日に確認している。

13. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*
通常は4月中旬より出現する。これまでの最も早い記録は4月9日であったが、今年は4月5日に確認している。
14. チャバネセセリ *Pelopidas mathias*
本種は個体数が少なく、これまでは6月以降に見られたが、今年は5月19日に確認している。
15. タمامシ *Chrysochroa fulgidissima*
通常は7月に入ってから姿を見せるが、今年は5月31日の羽化を確認している。

(ほりた ひさし)

正誤表

PARNASSIUS No.40 「淡路島の甲虫相」

頁	行	誤	正
1	欄外	兵庫県昆虫資料・285	兵庫県甲虫相資料・285
3	23	Troscidae	Throscidae

編集後記

- ▽ ここ数年来の異常気象は、局地的な集中豪雨といい、この夏の日照りといい、異常を超えたものを感じます。ビル・マッキベンの「自然の終焉」が現実のものとなりつつあるようです。淡路島ではこの夏50年来の早魃で、立木や水稻も少なからず枯死しました。堀田氏の報文にもあるように、昆虫の世界にも様々な影響が見られるようです。
- ▽ 次号は明年春に発行を予定しています。原稿をお寄せください。(TB)

PARNASSIUS No.41

1994年10月19日印刷 1994年10月22日発行
編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会
〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235
郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24